

児相と県警連携を 虐待防止へNPO要望



関係機関の連携の必要性を強調する
後藤啓三代表理事「名古屋市役所で

児童虐待で子どもが傷つく事件を防ごうと、NPO法人「シンクキッズ」子ども虐待・性犯罪をなくす会（東京都港区）は十五日、児童相談所と県警の連携を求める要望書を、県や名古屋市、県警に提出した。

要望では、児相が虐待を疑いながら、子どもの命を救えないケースが後を絶たないと指摘。児相が虐待に関連する通報を受けた際は、その情報を警察に提供し、現場で警察官が虐待の可能性を念頭に活動できるようにす

るなど、協力態勢の整備を求めている。NPO代表理事の後藤啓三弁護士が市役所で記者会見し「児童虐待は一機関のみで対応できるものではない」と強調。「関係機関が連携することで、虐待の可能性を疑いながら、対応できていないケースをなくしていくべきだ」と話した。

（北村剛史）